

第1学年「技術・家庭科」シラバス

教科の目標

- ◎ 生活の営みに係る見方・考え方や技術の見方・考え方を働かせ、生活の技術に関する実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力を育成することを目指す。

評価の観点・方法

《評価の観点》

- 知識・技能
- 思考・判断・表現
- 主体的に学習に取り組む態度

《評価の方法》

- プリントやレポートによる評価
- 授業観察による評価
- 自己評価や相互評価による評価
- 発表や話し合いによる評価
- 定期テストによる評価
- 作品の製作

特色ある学習方法

- ものづくりや衣食住などに関する実践的・体験的な学習を行う。
- 実践的・体験的な学習を通して、創意工夫する力を育てる。
- コンピュータの活用を通して、必要な情報を収集し活用する力を養う。

	学習内容	学習のねらい
前 期	<ul style="list-style-type: none"> ○技術分野ガイダンス ○技術の役割 ○材料を利用する技術 ○材料と加工の技術による問題解決と製作のための技能 <ul style="list-style-type: none"> ・製作工程・材料取り ・部品加工・組み立て ・仕上げ ○これからの材料と加工の技術 ○さまざまな生物育成の技術 ○生物の育成による問題解決 ○生活とコンピュータ <ul style="list-style-type: none"> ・基本操作 	<ul style="list-style-type: none"> ○3年間の学習内容の見直しをもつ。 ○技術の役割を考える。 ○組織、加工法、利用法、構想の表示方法を知る。 ○製作図をかくことができる。 ○製作の手順・方法を理解し、設計に基づいて、製作品を仕上げることができる。 ○学習の評価と活用ができる。 ○生物の計画的な栽培方法を理解する。 ○栽培計画を立て野菜を育てる。 ○コンピュータの構成と情報処理の仕組みがわかる。 ○ドキュメントやスライドを使うことができる。
後 期	<ul style="list-style-type: none"> ○家庭分野ガイダンス ○自分の成長と家族・家庭生活 ○健康な食生活 <ul style="list-style-type: none"> ・食事の役割と食習慣 ・中学生に必要な栄養を満たす食事 <ul style="list-style-type: none"> ・さまざまな食品とその選択 ・日常食の調理 肉、魚、野菜の調理 ・地域の食文化 	<ul style="list-style-type: none"> ○3年間の学習内容の見直しをもつ。 ○家庭の基本的な機能について気づく。 ○食事の役割について理解し、毎日の食事に関心をもつ。 ○中学生の身体的特徴を理解し、中学生に必要な栄養の特徴がわかる。 ○生鮮食品と加工食品の特徴がわかる。 ○食品の安全や情報に関心をもって選択できる。 ○調理の流れや手順がわかり、簡単な日常食の調理ができる。 ○おいしさと調理の関係を理解する。 ○地域の食材を使う意義と和食の調理を理解する。

第3学年「技術・家庭科」シラバス

教科の目標

- ◎ 生活の営みに係る見方・考え方や技術の見方・考え方を働かせ、生活の技術に関する実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力を育成することを目指す。

評価の観点・方法

《評価の観点》

- 知識・技能
- 思考・判断・表現
- 主体的に学習に取り組む態度

《評価の方法》

- 作品の製作による評価
- プリントやレポートによる評価
- 授業観察による評価
- 自己評価や相互評価による評価
- 発表や話し合いによる評価
- 定期テストによる評価

特色ある学習方法

- ものづくりや衣食住などに関する実践的・体験的な学習を行う。
- 実践的・体験的な学習を通して、創意工夫する力を育てる。
- コンピュータの活用を通して、必要な情報を収集し活用する力を養う。

	学 習 内 容	学 習 の ね ら い
技 術 分 野	<ul style="list-style-type: none"> ○情報の伝達 <ul style="list-style-type: none"> ・情報通信ネットワーク ・Webのしくみと情報の表現 ○情報セキュリティとモラル <ul style="list-style-type: none"> ・情報化社会の光と陰 ・知的財産権の保護と活用 ○デジタル作品の設計・制作 ○双方向性のあるコンテンツ、計測・制御のプログラミングによる問題解決 ○3年間をふり返って 	<ul style="list-style-type: none"> ○多様なメディアを複合し、表現や発信ができる。 ○情報化社会の光と陰について理解を深め、モラルの必要性について関心を高める。 ○情報処理の手順を考え、簡単なプログラムが作成できる。
	<ul style="list-style-type: none"> ○幼児の生活と家族 <ul style="list-style-type: none"> ・幼児のころと今の自分 ・幼児の体と心の発達 ・発達にとってのおとなの役割 ・遊びが必要性と遊びを支える環境 ○幼児とのかかわり <ul style="list-style-type: none"> ・ふれ合い体験 ・子どもの成長と地域 ○持続可能な家庭生活 ○持続可能な社会 ○3年間をふり返って 	<ul style="list-style-type: none"> ○心身の発達の特徴や基本的な生活習慣の重要性を知り、家族の役割について理解する。 ○自分の実践的・体験的な活動を通して、遊びの意義を理解する。 ○幼児とのふれ合い体験を通して幼児の成長や生活習慣の特徴を理解する。 ○誰もが尊重される家庭・地域の生活をめざして、課題を見つけ、実践に取り組む。 ○持続可能な社会に向け自分たちができることを考える。
家 庭 分 野		